

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

指定文化財(史跡)

めぐみいけおよびめぐみいけひ

## 恵池及び恵池碑

新高総早  
見梁社島  
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠  
掛原口庄岡  
町市市町市



場所

倉敷市玉島黒崎



時代

江戸時代



指定年月日

昭和45(1970)年  
3月20日



所有

倉敷市



し せき

### この史跡について

玉島黒崎の沙美海岸の近くに三角形の人工池があります。天明6(1786)年、鴨方の朱子学者西山拙斎がここを訪れたとき、沙美の人々の純朴さにうたれ、『沙美の浦歌』という詩をつくりました。

この詩を読み感動した倉敷代官菅谷長昌は、寛政元(1789)年にこの地を訪れ、拙斎の歌ったとおりの人情風情に触れました。菅谷長昌が拙斎の詩とともに、ここで見聞きしたことを幕府に報告したところ、幕府から白銀20枚が沙美の人々に下賜されました。

沙美の人々はこの栄誉を後世に伝えようと、皆で農業用水を蓄えるための溜池を造り、恵池と名付けました。そして、池の北端には拙斎がこの経緯を記した文をつくり、曾道怡が筆を取った碑が建てられたのです。